

# 子供の不安をやわらげるためにできること

## 【文字を書くことが苦手な子供への理解と支援】



習志野市総合教育センター

### 子供の様々な変化に不安を抱える保護者の皆様へ・・・

新年度が始まって 1 か月が経ちました。昨日までゴールデンウィークだった方もいらっしゃると思いますが、今年もコロナ化の影響でなかなか身動きが取れなかった方も多いのではないのでしょうか。早く収まってほしいですね。

さて、親子の時間の一つに「宿題の時間」があると思います。子供の宿題が終わらずに、イライラしてしまうこともあるのではないのでしょうか。

今回は宿題に関連して「書く」ことについてお伝えできればと思います。

### ◇漢字ドリルの宿題に時間がかかってしまう

・「漢字ドリルで二文字書くのに 2 時間かかる」

『文字のずれが許せない』『何度も書いては消す』など、自分の書く文字に対してのこだわりが強く、なかなか宿題が終わらないお子さんがいます。これは自分が書いた文字に対して、「納得できない」のです。そのため、時間を気にすることなく何時間もかかってしまい、何時間も行ったことで疲れて他のことができなくなってしまうのです。

このような時、「漢字一文字 1 ページ書くのに何時間かけているの!」と怒っても、書いている本人が納得していないので、注意されてもスピードを速めることができません。そこで、「スピード」ではなく「時間」を意識するように切り替えてみると、うまくいくことがあります。例えば、「昨日の漢字とても上手だったね。今日も頑張ろうね」と子供の頑張りを認めてほめつつ、「昨日は一文字に5分かかっていたけど、今日は何分あればかけそう?」と聞き、子供が「3分」と言ったら、「ストップウォッチで測ってみようか。よーいスタート!」などと言ってみるのです。この場合、大人が時間を決めるのではなく、子供が自分から「3分」と言っていますので、大人の支援は「3分」を測ってあげるだけになります。達成できたら「すごい!さすがだね!」と大げさにほめてみましょう。達成できなかった時には、「あともう少しだったね。どうしたら達成できそうかな」と疑問を投げかけ、「もう少し早く書く」という言葉を引き出せたら良いと思います。繰り返していくうちに、「時間内に終わらせよう」と自分が「納得できる」方向性が変化していきます。丁寧な文字を書いていた子には、「書くのが早くなっても、文字はきれいだね!」とほめるようにしていくと、時間を意識してきれいな文字を心がけるようになりますよ。



お子様の心の変化や登校渋り等でお困りの時は、総合教育センター教育相談を御利用ください。  
総合教育センター 教育相談(047-475-8341) 青少年テレホン相談(047-475-7867)  
特別支援教育相談(047-476-0210) 適応指導教室「フレンドあいあい」(047-471-1236)